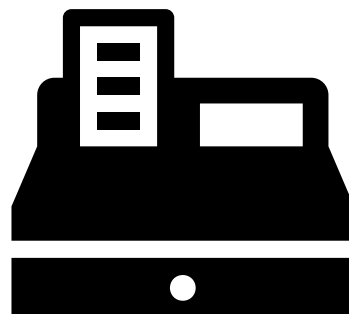
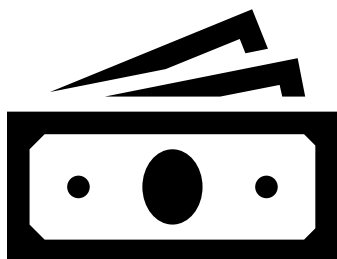


高校生労働白書

就業時のしおり



目次

はじめに

1. 職探し
2. 契約
3. 働いているときに困ったら
4. 退職

おわりに

はじめに

この冊子は働くことを検討している高校生を主なターゲットとして作られています。働く前・働いているとき・やめるときそれぞれのシチュエーションにおける諸問題への対処法の一助になるよう編集されています。

1. 職探し

・職探しのポイント

高校生が職探しをするうえで注意すべき労働条件には主に

- ・ 期間
- ・ 出勤回数、時間の下限上限
- ・ 仕事内容
- ・ 休みの取りやすさ
- ・ シフト体系

などがあります。夏休みや冬休みに集中して働くのか、継続的に働くのかにより求める条件は個々人で異なるものの、時給だけをみた職探しには危険が伴います。様々な条件を多面的に見た判断が重要です。またシフト体系がどのような形式化も重要です。シフト体系には大きく二種類があります。曜日固定型と毎月申請型です。曜日固定型はシフトの予定が毎月曜日で固定されているもので、柔軟な自分の予定に合わせた変更ができない一方、スケジュールが早い段階で固定されることや、一緒に仕事をする人がある程度固定されていて慣れやすいというメリットがあります。毎月申請型は毎月その月の出勤を申請するタイプで、自分の予定に合わせた柔軟なシフトを計画できる反面、毎月の最低出勤数によっては多少無理なシフトを組む必要がある可能性があります。

- ✓ 応募の段階で就業条件はよく確認しておこう
- ✓ 時給以外の条件もよく確認し、総合的に自分にふさわしいか判断しよう
- ✓ シフトの組み方に注意しよう

2. 契約

・面接と契約書

自分にふさわしい条件のアルバイト先を見つけたら、各企業のアルバイト応募方法に従い、応募してみましょう。履歴書の準備が必要な場合等もあります。多くの場合、入社の前には面接が行われます。必要なものを準備したうえで、指定されるであろう会場にて面接を受けることになります。この際に最も重要なのは自分が週にどの程度、それをどのくらいの期間の間働けるかについてです。学業が最も重要なのは言うまでもありませんが、その学業との両立ができるよう、無理のない範囲で答えを準備しておきましょう。

面接が終了すると、採用の際には電話等の手段にてその通知がなされます。いざ採用されたらまず行われるのが契約書の作成です。ここには就業日数や時給、雇用の期間や契約の再締結など、アルバイトをする際の様々な条件が記されているはずです。以下に挙げる項目が記されているか確認してみましょう。

- ✓ 労働の期間
- ✓ 就業場所
- ✓ 業務内容
- ✓ 契約更新の基準
- ✓ 勤務の開始終了時刻
- ✓ 所定の労働時間の有無
- ✓ 休日・休暇・休憩時間について
- ✓ 賃金発生の基準と計算方法、支払い方法と支払日、支払い時期
- ✓ 退職のルール
- ✓ (アルバイト・パートタイム等短期雇用契約の場合)昇給の有無
- ✓ (アルバイト・パートタイム等短期雇用契約の場合)退職手当の有無
- ✓ (アルバイト・パートタイム等短期雇用契約の場合)賞与制度の有無
- ✓ (アルバイト・パートタイム等短期雇用契約の場合)相談窓口について

3. 働いているときに困ったら

ここでは Q&A 形式で働いているときのトラブルについて扱います。

Q 休みたい日の希望を伝えたら「代わりを用意して」と言われた

A 仕事を休む際に変更の人員を用意する責任は労働者にはありません。もちろん用意できるならそれに越したことはありませんが、できなかったからと言って負い目を感じる必要はありません。

Q 業務内容が契約書と異なる

A 契約書を確認したうえで契約を結んだ相手となる上司に相談しましょう。

Q 仕事量が明らかに契約での終了時間内に終わるものではない

A 仕事を始めた当初は不慣れもあり、仕事が終わりに切りそうにないと感じることもあります。しかし、働き始めてからある程度の期間がたってなお仕事量が多いと感じるときには一緒に働いている人間や上司に相談したり、それでも治らない場合はさらに上の人間に相談したりすることも検討して良いでしょう。

4. 退職

・退職の際には

多くの企業において、退職希望日の 2 週間前～1 か月前といった退職希望を上司に伝える期限があります。自分の勤める会社のルールに従い、上司に仕事をやめることを伝えたら設定された日をもって退職することができます。その際に注意すべきなのは会社から借りている備品の返却です。制服や名札など会社支給の備品は退職時に返却が必要です。入社して受領したときからしっかりと管理することが必要です。

おわりに

四章にわたって高校生がアルバイトを始める・行う・やめる際の大まかな流れと注意点を解説しました。働いているそれぞれの局面において、以上の解説では不十分な問題に直面するかもしれません。その際にはサイトの豊富な法律解説や事例解説を参考にしてください。アルバイトは普段「学生」という身分の元ある程度保護されている私たちでも「社会人」として責任を持つことです。そしてその対価が給料であるわけです。その意識がトラブルのない・少ないアルバイトの経験の一助になると考えています。